

阿賀野川
aganogawa E-toko dayori

えとこだより

ここにあるすべてを、
かけがえのない「宝もん」へ。



「五泉市のブランド里芋『帛(きぬ)乙女』を栽培する巢本地区の畑」場所:五泉市一本杉/提供:中村吉則氏

もくじ

ロバダンナー特別レポート インフォメーション	8
SDGsをさぐる【公害編】	6
特集3 令和6年度パネル巡回展 ・阿賀野川流域地域 水と大地の	5
再生フォーラム(第12回)開催レポート	4
特集2 阿賀野川エコミュージアムを目指す流域	4
特集1 阿賀流域再発見・連続ツアー講座2024 ～阿賀野川流域のSDGsをさぐる～ 大地の豊かさを享受する、阿賀野川 中流域の持続可能な風土とは？	2

エスディー・ジーズ 阿賀野川流域におけるSDGs^(※1)への理解を深めるために

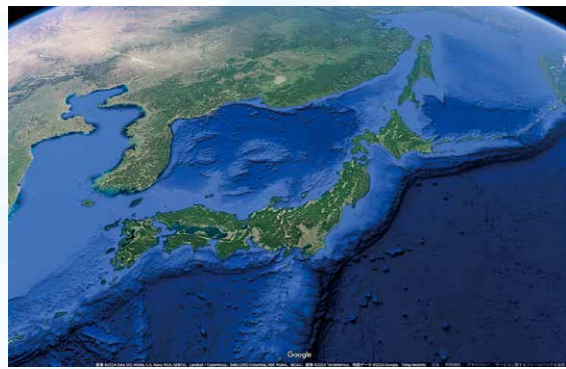
水と大地が織りなす風土の豊かさと
その影を探ることを通じて

F M事業^(※2)では、これまでの「阿賀野川流域の歴史や文化が織りなす光と影を踏まえつつ、流域での現在の暮らしや地域の未来」について模索しています。前年度は阿賀町を舞台に、「清らかな水を守り活かす、阿賀野川上流域の持続可能な豊かさ」を探りました。

今年度は舞台を五泉市・阿賀野市へと移して、中流域における「大地の豊かさ」に注目します。具体的には、中流域の大地が、上流域の大河や山々の影響も受けてどのように誕生したか、その大地の形成が現在の産業や暮らしにどのようにつながっているかについて皆さんとともに現地を巡って探ります。

一方、流域のSDGsを考える際に、避けて通れない影の部分が新潟水俣病問題です。そのため、今年度は、昭和30～40年代の流域における暮らしや、新潟水俣病のあらましについて、流域にお住まいの方々や公害運動の関係者への「ロバダンナー」(炉端談義を通じてお話を伺い、パネル展示として描き出すこと)で、阿賀野川流域におけるSDGsへの理解を深めたいと考えています。

※1「Sustainable Development Goals」(=持続可能な開発目標)の略称。詳細はP.2参照。 ※2「阿賀野川えとこだプロジェクト」のこと。詳細はP.8参照。



中～上流域の大地の形成過程を 日本列島の誕生と併せて学ぼう

阿賀野川の中流域に広がる大地は、大河の河道変遷や上流域の山地の変動に影響を受けながら、ダイナミックに形成されてきました。さらに、阿賀野川中～上流域の大地の形成は、日本列島の誕生と軌を一にしています。

当日は、こうした阿賀野川中～上流域における大地の形成を、日本列島の誕生と並行させながら、豊富な画像を用いて皆さんとともに学びます。

事前座学講座
ライブ配信あり
11/17(日)
13:30～16:00
(※開場13:00～)

場所 NOCプラザ1階 103号室
(住所: 〒950-8756 新潟市東区卸新町2丁目853番地3)

※「会場参加」を希望された方で、抽選に外れた場合、メールアドレスをお持ちであれば、「オンライン配信」を視聴できるアドレスを送信いたします。

定員 会場参加:40名 / ライブ配信:定員なし
(※当日はYouTubeライブで配信)

参加費 無料 ※現地バスツアーへの参加を希望される場合、事前座学講座には必ずご参加ください。

事前講座だけの参加も大歓迎です!

中流域の風土を生かした企業を巡り、大地の豊かさを学ぼう

当日は、大地の恵みを資源として生かしてきた企業の現場を巡り、大地の豊かさを実感しつつ、今後の持続可能性について考えます。

現地バスツアー #2
11/24(日)
8:30～17:00



集合場所 新潟駅南口 または 安田交流センター 風とぴあ (阿賀野市)
(※当日はどちらかでお待ちください。バスが向かいます)

定員 30名 **参加費** 1,500円/名 (※昼食代を含む)

中流域の現地を巡って、大地変動の痕跡をたどろう

当日は、阿賀野川中～上流域の大地の変動がうかがえる痕跡を、五泉市や阿賀野市などの現地を巡ってたり、現在に至るまでの変遷を見つめ直します。

現地バスツアー #1
11/23(土)
8:30～17:00



集合場所 新潟駅南口 または 安田交流センター 風とぴあ (阿賀野市)
(※当日はどちらかでお待ちください。バスが向かいます)

定員 30名 **参加費** 1,500円/名 (※昼食代を含む)

申込多数につき抽選になった場合、3日間の全日程に参加できる方を優先いたします。

申込方法

下記事項を電話やFAXにてお知らせいただくか、申込フォーム(二次元コードまたは下記URL)から、**11月8日(金)までに**お申し込み願います。なお、当落結果のお知らせが11月11日(月)までに届かなかった方は、お問い合わせ願います。 電話・FAX:0250-68-5424 URL: <https://forms.gle/Co6gnCFkh5nGrpHE9>



フリガナお名前	ご住所		〒
電話番号	※当日連絡が取れる携帯電話番号優先		メールアドレス ※メールアドレスがない場合は、11/17講座のオンライン(ライブ配信)参加不可
参加有無 (※講座は必ず参加)	11/17講座 (※希望に○)	会場参加 オンライン参加 (※メールない場合は参加不可)	11/23ツアー (※希望に○)
ご同伴者 (※いらっしゃれば)	フリガナお名前	フリガナお名前	フリガナお名前

※いただいた個人情報は、「阿賀流域・連続ツアー講座」及び「阿賀野川エコミュージアムを目指す流域再生フォーラム」の開催案内や実施、及び「阿賀野川え〜とこだより」の送付を目的とした用途以外に使用することはありません。なお、ご同伴者も含めて申し込まれた場合は、同じグループとみなして抽選いたしますので、当落結果は別々にはならず一緒になります。

●ほかに…
●鬼瓦作り実演
●キッチンカー(予定)
…など
TEL 0250-68-2112



日時 10/27(日)
9:00～16:00
場所 いしがた瓦館
かわらティエ
(阿賀野市保田)
7372番地



技能オリンピック in やすだ瓦ロード 開催!
主催●新潟県瓦工事業協同組合
かわらぶき職人たちが伝統的で高度な技術と美しさを競う大会です!

入場無料
トピックス
地場産業



阿賀流域再発見・連続ツアー講座 「阿賀野川ものがたり」2024

阿賀野川流域のSDGsをさぐる

特集
1

大地の豊かさを享受する、 阿賀野川中流域の 持続可能な風土とは?

現地バスツアー #2
11/24(日)
8:30～17:00

現地バスツアー #1
11/23(土)
8:30～17:00

事前座学講座
ハイブリット形式で開催
11/17(日)
13:30～16:00



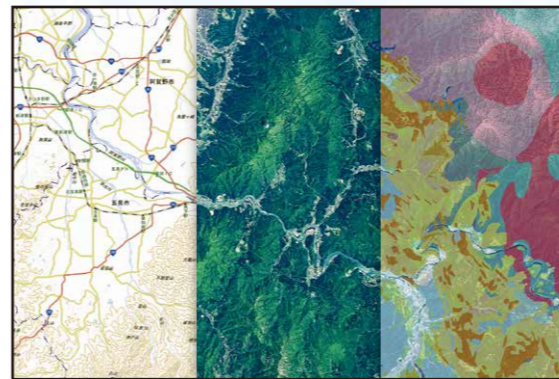
▲阿賀野川流域の地質図

▲分田砂利採取協同組合

▲丸三安田瓦工業(株)の瓦工場

▲収穫された五泉の里芋「串乙女」

阿賀野川中～上流域の大地はどう誕生し、どのように生かされてきたか 座学や現地巡り、企業の取組を通じて学ぶ



▲中～上流域の大地の誕生を豊富な画像を用いてダイナミックに学びます

中～上流域の大地の豊かさを体感するイベント&ツアー
昨年度から「阿賀野川流域のSDGsをさぐる」と題して阿賀野川流域の持続可能性を皆さんと共に学び考える連続ツアー講座を開催しています。今年度は阿賀野川中～上流域におけるダイナミックな大地の形成過程を、豊富な画像を用いた座学を通じて学んだ後、中流域の大地を中心に現地を巡り、豊富な資源を生かした企業の取組を見学する、3日間のイベント&ツアーです。ぜひご参加ください!

主催 ● 新潟県 共催(予定) ● 五泉市・阿賀野市 後援(予定) ● 新潟市・阿賀町 企画・運営 ● あがのがわ環境学会



▲17のゴール(※18個目のアイコンは、SDGsを表すカラーホイール)

ESDエスディーゼス SDGsって何?

Sustainable Development Goals (=「持続可能な開発目標」)の略称で、2015年に国連で採択された。

「安全な水…を世界中に」「質の高い教育をみんなに」など17のゴールが掲げられ、どの国も2030年までに達成すべきとされている。

